

市立病院の統合 県からの提案

なぜ議会にも報告しなかったのか

福田明市議の一般質問から



天心焼展

(市民ふれあいセンターにて)



芝桜のアゼ

水田のアゼの雑草抑制と景観づくりをかねて芝桜を植栽する試みがすすめられています。
(関本町関本上地区)

12月12日、市議会の一般質問において福田明議員は、北茨城市立総合病院問題に関連して、県から以前に市立総合病院と高萩協同病院の統合の話があったのか、今年度の市立総合病院の決算見込み額はいくらか、と次のように質問しました。

「市立総合病院問題について、先日 of 住民説明会でも、ある元市会議員からも、以前に県が提案した市立総合病院と高萩協同病院の統合提案を真剣に考えていれば、今日の事態には陥らなかった。すべての責任は市長にある」と、きびしい発言が出された。

じつは私も、県厚生連（協同病院の運営主体）幹部と市長が県知事に呼ばれて二つの病院の統合案が示されたと聞いている。その理由について知事は、市立と協同病院が統合して400床、500床の新病院を建設したほうが設備も整っており、医師の確保が容易である。経営的にも200床前後の病院よりは、400床、500床の病院のほうがいい。土地については南中郷裏の県の開発公社の土地にすれば、北茨城市と高萩市の中間に位置し、いいのではないかと、言われたと聞いている。

当時（2002年秋）、高萩の岩倉市長も「市立病院と統合して新病院の新築を」と新聞紙上で談話を発表した。

私はこの統合問題について2002年9月の一般質問で取上げ、市長の考えをただしたが、市長は、そういう県からの話はなかったとの答弁に終始した。しかし、その後の情報や調査によれば、知事から統合の話があったのは事実のようである。なぜ市長は、県からの提案があったことを議会にも報告しなかったのか、受入れるかどうかの判断は別にしても議員の意見を聞くべきではなかったのか。

と、きびしく追及しました。これに対して市長は「私には話がなかった」と、あくまで知事の統合提

案そのものがなかったと強弁しました。

質問の後、他の議員からは「本当の真相はどうだったのか」とのささやきが漏れました。また、ある議員からは「百条委員会を設置して真相を究明すべきだ」との発言もありました。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>
編集部では身近な情報をお待ちしています。